

## 令和4年11月定例教育委員会議録

1. 日 時 令和4年11月2日(水) 午後2時
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員
- |          |         |
|----------|---------|
| 教育長      | 奥 真弥    |
| 教育長職務代理者 | 赤坂 敏明   |
| 委 員      | 山下 潤一郎  |
| 委 員      | 中村 スザンナ |
| 委 員      | 甚野 益子   |
| 委 員      | 石崎 貴朗   |
| 委 員      | 谷口 朋    |
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 教育部長               | 高橋 和也  |
| スポーツ推進担当理事         | 樫葉 浩司  |
| 日本遺産推進担当理事         | 中岡 勝   |
| 教育総務課学校施設担当参事      | 山出谷 佳則 |
| 教育総務課教職員担当参事       | 山岡 史賢  |
| 教育総務課教育振興担当参事      | 川崎 信行  |
| 教育総務課夜間中学校担当参事     | 本道 篤志  |
| 学校教育課長             | 藤原 義弘  |
| 学校教育課学校指導担当参事      | 和田 哲弥  |
| 生涯学習課長             | 大引 要一  |
| 青少年課長              | 中岡 俊夫  |
| スポーツ推進課長           | 山路 功三  |
| (庶務係) 教育総務課主幹(兼)係長 | 山本 建志  |
5. 本日の署名委員 委 員
- |  |        |
|--|--------|
|  | 山下 潤一郎 |
|--|--------|

## 議事日程

(報告事項)

報告第33号 教育委員会後援申請について

報告第34号 教育委員会後援実施報告について

議案第24号 泉佐野市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

(教育総務課)

議案第25号 泉佐野市民テニスコート条例施行規則の一部を改正する規則について

(スポーツ推進課)

(午後2時00分開会)

## 奥教育長

ただ今から令和4年11月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

本日は委員全員が出席しているため、会議が成立しています。

本日の会議録署名委員は石崎委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、本日の審議に入ります前に、10月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がございましたら、お願いいたします。

## 甚野委員

最後の方で発言させていただきました「関西フィルハーモニー」の件なんですけれども、私の言葉でおかしいところがありますので、修正をお願いできたらと思います。一番最後の方ですけれども「五感を呼び覚ますのにちょうどいい時期に企画・実施していただいて感謝しております。」に修正をお願いしたいと思います。

## 山本教育総務課主幹(兼)係長

わかりました。

## 奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、甚野委員は後ほど署名をお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

はじめに報告第33号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

山本教育総務課主幹(兼)係長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料33に基づいて説明。

新規4件、継続5件、計9件の事業内容について一括で報告

奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

中村委員

一番目の新規の「キッズマネースクール」のボックスゼロと、中段の継続区分の「キッズマネースクールおみさやさんごっこ」の一般社団法人ママと子どもの子育てラボは別々の団体ですか。代表者のお名前をお聞きしたいのですが。

藤原学校教育課長

ボックスゼロは岡本朋香さん、一般社団法人ママと子どもの子育てラボは森次芳江さんです。

中村委員

期間中に同じ内容のもので対象年齢も同じですが、内容的なことも同じと解釈してもいいですか。

藤原学校教育課長

期間は被っていますが主催者も内容も違います。

中村委員

お知らせは学校を通じて案内チラシが子ども達に配布されるのですか。

藤原学校教育課長

その辺はまだ聞いておりません。

中村委員

校園長会からのお話しですか。

和田学校教育課学校指導担当参事

ボックスゼロの方は来月の校園長会で紹介してほしいという依頼がきております。

中村委員

12月の校園長会ですか。

和田学校教育課学校指導担当参事

校園長会で紹介してほしいという依頼を昨日お電話いただきました。

中村委員

一般社団法人ママと子どもの子育てラボは校園長会は通らないのですか。

和田学校教育課学校指導担当参事

予定はないです。

奥教育長

一般社団法人ママと子どもの子育てラボは1日だけですか。

中村委員

1日だけですね。

奥教育長

同じキッズマネースクールとなっていますが関連はないのですか。

キッズマネースクールの一貫としてこの日だけ特別おみせやさんごっこをするのかと思ったりするのですが、全く別物なんですか。

谷口委員

私はキッズマネースクールに行ったことがあります、学校からチラシを配られて申し込みをしました。新規のボックスゼロはわからないですけど。

奥教育長

おみせやさんごっこは申し込みをするんですね。

チラシを配ってほしいというのはボックスゼロの方ですか。

和田学校教育課学校指導担当参事

ボックスゼロは昨日お電話をいただいて、チラシができていないのでチラシと鏡文ができれば11月半ばに持っていきますということでした。

奥教育長

おみせやさんごっこの方も後でくるかもわからないですね。去年も配られてきたんですね。

谷口委員

はい。

奥教育長

去年は学校に配られてきたということはまた配られるんですかね。  
全く別の団体なんですね。同じキッズマネースクールになっているので同じかなと思いますが、違うんですね。

中村委員

2つとも所在の方は泉佐野の方ですか。

藤原学校教育課長

ボックスゼロは和歌山県、一般社団法人ママと子どもの子育てラボは泉大津市です。

奥教育長

泉佐野市だけではなくて各地でやっているのですかね。

中村委員

巡回みたいな感じですかね。わかりました。ありがとうございます。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

下から3番目の継続の「泉佐野市子ども会育成連合会親善オセロ大会」の件ですが、オセロ大会のことについてはなくて、お聞きしたいのは泉佐野市のそれぞれの校区、地域で子ども会とか育成会の活動が行われているのか等泉佐野市の現在の活動の状態をお聞きしたいのですが。

中岡青少年課長

教育委員会から青少年健全育成に関しては、子ども会育成連合会を通じてやっておりまして、各地域の子ども会活動に関しては把握できておりません。町会組織の下部組織で子ども会があるということなので、町会の推進の活動の中でやっているであろうと推測しておりますけれど。

高橋教育部長

実際にはだいぶ減っていますね。昔やっていたけれども役員をしたくない等でだんだんと組織がなくなってきて、活動が少なくなってきているんだと思います。

甚野委員

確かにお世話は大変ですが、年間通じて色々な行事をこなしていったように思ったので、現在はどうなっているのかなと思いましたので、ありがとうございます。

奥教育長

市こ連としては、オセロ大会とソフトボール大会とドッジボール大会の3つはやっていますね。

中岡青少年課長

その他の事業は、コロナの関係で中断しておりますけれど、回復したら再開するとお聞きしております。

甚野委員

子ども会にしろ育成会にしる、地域の子も達が縦社会の中の組織に参加させていただくいい機会かなと思ったりするのですが、参加者が減っているということで、子どもの数が減っているのもあるのですが、現状をお伺いしました。

奥教育長

全国学力状況調査の子どもアンケートの結果を見ても「地域の行事に参加していますか」という質問に対しては、全国の平均と比べると泉佐野市は「当てはまらない」と答えている子が多いです。そういう風なところがだんだんと希薄になってきている。それがどういう風にマイナスに左右しているのかはまだ明らかにはされていませんけれども、地域の行事に参加しないということはプラスには子どもの成長には向かないとは思いますが、これは大きな課題だとは思っています。そういうことを活性化していくためには、地域の方々、町会等が中心に頑張ってもらいたいと思いますけれど、そういう意味で学校としっかりと連携してもらいたいということも大事だなと思います。子どもたちが行事に参加してもっと盛り上げてほしいという思いで活発になってくれたら嬉しいですけどね。

甚野委員

子どもたちが普段遊んでいるのをあまり見かけなくなってきたので、どこで遊んでいるのかと不思議に思ったりしている状態です。

奥教育長

課題ということですね。

他にありませんか。

赤坂委員

新規の「関西城郭サミット 2022in 烏帽子形城」の件ですが、これは河内長野にある烏帽子形城の城郭跡が歴史的に色々価値があるということで催されると思うのですが、関西城郭サミットですから他にそういう城郭で文化的な価値を持っていて、同じ様にサミットに参加されているところは、何箇所ぐらいあるのでしょうか。

## 中岡日本遺産推進担当理事

ここに書かれているのは、千早赤坂村は千早城、河内長野市は烏帽子形城、泉佐野市は土丸雨山城、四条畷市は飯盛山城、高槻市は芥川城。これは国の史跡に指定されているものだけなんです。が、まだ指定されていないお城が沢山あります。大阪の中でも50以上は大小様々あるのですが、その中でも中世山城というのがあって、現在整備されていないものが沢山あって、これをどういう風に整備していけばいいかというのを持ち寄るような会になっています。泉佐野市も市長と土丸城を登るといふ計画があるのですが、12月の市議会の終わりの日に登る話が今のところ出ているのですが、登っていただける方がいらっしゃいましたら募らせてもらおうと思っています。昔教育長と副市長と大引課長と1泊して、夜景を見て朝焼けを見て帰ってくるナイトハイキングをしたことがあるのですが、登る登山口の整備とか、上に行った時に風景は綺麗なので周りの木の伐採を少しづつ実施しています。頂上に石垣ではなくて昔の武家屋敷みたいなのがあったはずなので、そういう整備しているところが全国でも最近増えてきているので、地元のお城を見に行くようなモニュメントがある市は観光資源にもなっています。大阪の城の調査は他に比べて一番最後にやっている方なんです。赤坂委員がいい質問されていて、実は何個あるかわからないんです。大阪府の中だけが悉皆調査といいまして、各市ごとに何個あるかという調査が一番出来ていないのが大阪府だけなんです。他の県は全部どの市も大小様々数を数えて把握しているのですが、関西は南ブロックだけがやっていて、逆に北とか南河内、北河内は出来ていないので、一番遅れていることもあり、いくつあるかは正直わからないですが、かなりあります。

## 赤坂委員

当市の中でも山城と平城との違いがわかりませんが、言われているところは何箇所かはありますね。

## 中岡日本遺産推進担当理事

泉佐野でも山の上にあると山城、平地にあると平城というのですが、実は樫井城という平城があります。熊野街道沿いに行きますと淡輪六郎兵衛の石碑が建っていますが、すぐ横の田んぼが樫井城跡というのがわかっていまして、堀が残っています。そこも奥氏と日根野氏が入っていたということで、そこも市長は気になっているみたいです。岸和田藩が絵図を書いているので、樫井城の絵が残っているんです。それを市長が見たいと最近言っていて、立て続けに2箇所の城となると手が回らないなと思っているのですが。土丸城は民有地なんです。お隣の熊取町の雨山は大森神社が一番上の社の部分を持っていて、それ以外は熊取町の町有地なんです。泉佐野市の場合は、全部民有地なので、整備しようとする必要がありまして、ただ、山の持ち主さんは相続されていないことが多く、今相続を追いかけるのも並行してやっているのです。寄付したいという人と早く買って欲しいという人がおられます。泉佐野市も河内長野市の烏帽子形城の指定とほぼ同じぐらいですので、泉佐野市も来年ぐらいが10周年記念なので何か考えないといけないと思っています。

奥教育長

期待しています。また一緒に登る人がいましたらおっしゃってください。そんなに大変ではないですよ。

中岡日本遺産推進担当理事

佐野の方から登る登山道は平成25年に一回足場は整備していますが、また状態が悪くなってきているところですね。

山下委員

寒い時期ですか。

中岡日本遺産推進担当理事

12月中旬ぐらいなので、寒いですね。寒い時期の方がいいですけどね。

奥教育長

またよろしくお願いします。

奥教育長

他にございませんか。

無いようございますので、以上で報告第33号を終わります。

次に、報告第34号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いします。

山本教育総務課主幹(兼)係長

報告第34号「教育委員会後援実施報告について」ご説明いたします。報告資料34「教育委員会後援実施報告一覧表」をご覧ください。報告件数は今回6件でこれらは以前に教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料第34をもって報告にかえさせていただきます。

奥教育長

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いようございますので、以上で報告第34号を終わります。

続いて議案審議にうつります。

議案第24号「泉佐野市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について」を議題といたします。説明をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

それでは、私より、議案第24号、「泉佐野市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について」説明します。



議案資料24をご覧ください。

本件は事務職員が管理職や他の教職員との適切な業務の連携・分担の下、その専門性をいかして学校の事務を一定の責任をもって自己の担当事項として処理することとし、より主体的かつ積極的な校務運営への参画をめざすとともに、共同学校事務室を設置し事務連携の推進を図るため、学校教育法第37条及び、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の4に則り、泉佐野市立学校の管理運営に関する規則について所要の改正を行うものです。

新旧対照表をご覧ください。

これまで学校事務職員の職名ごとに条立てしていた職務等の内容を、学校教育法第37条に則り、主幹等に集約し、主体的かつ積極的な校務運営への参画をめざすため、担当事務をつかさどると改正します。

これにより、それぞれの職名について、定めていた第4条の6から7条を削除します。

また、これにより、発生する条番号の調整のため、第4条の8を第4条の6に、第4条の9を第4条の7に改めます。

さらに、第4条の8として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の4に則り、共同学校事務室について定めます。

説明は以上でございます。ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま教育総務課教職員担当参事より説明がありましたが、ご意見ご質問がございましたら、お願いします。

中村委員

改正をするにあたって、今まで学校の現場で困っていたことがどういう良さや、改善される面があるのかわかりやすく説明していただけますか。

山岡教育総務課教職員担当参事

事務職員が今まで校長の命により処理していた事務を学校運営に参画することによって、学校をこうしたらよくなるんじゃないかという提案も出来るようになりますし、責任を持って学校運営に参画していただくことができます。現段階でも連携を進めているのですが、共同事務室を実施することによって各学校での事務職員が1人、2人しかいませんので、それぞれの職務をお互いに補い合ってミスを少なくしたり、1人では負担が大きいところを校区だったり泉佐野全体で協力し合うことによって円滑に進めることができたり、現在担任の先生等が行っている学校徴収金の問題であったりとかを事務職員が負担することによって先生方の現在の事務の負担を軽減するというような事です。この改正で事務職員が担当事務をつかさどって、学校運営に積極的に参画するという形で学校全体の先生方の負担も含めて軽減して、お互いが相互チェックすることによって質も高めていくという方向性を持っているという事でございます。

奥教育長

よろしいでしょうか。

中村委員

今までの事務職員は、学校の中にいらした方が第二小学校なら第二小学校だけではなくて、佐野中学校との連携だったりとか、こども園からあがってくる子ども達の情報処理だったりというの自分から積極的にという解釈でよろしいでしょうか。

山岡教育総務課教職員担当参事

概ねその通りでございます。今までだと、個人情報も含めましてその学校の処理しかできなかったものを共同学校ということで、お互いに校区内で兼務をかけることによってお互いの生徒児童の情報を共用しながら学校運営に参画して、もしくは共同体として参画して学校の先生方の負担を軽減する、もしくは学校のより良い運営に積極的に参画できるようになるということです。

中村委員

学校教育課だけではなくて、こども部だったり健康推進課の方の横の繋がりも情報やりとりというのはまだまだ先の話になるのですか。

山岡教育総務課教職員担当参事

今取りあえずは教育委員会が所管している部分での連携になりますので、こども部だったりの連携に関しては今後の課題になります。まずは教育委員会が所管する小中学校の今まで独立していた事務の部分連携して、学校運営に参画して先生方の負担軽減だったり、事務の質を上げていくという取り組みを進めていくための改正でございます。

奥教育長

よろしいでしょうか。

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第24号「泉佐野市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きまして議案第25号「泉佐野市民テニスコート条例施行規則の一部を改正する規則について」を議題といたします。説明をお願いします。

山路スポーツ推進課長

議案第25号「泉佐野市民テニスコート条例施行規則の一部を改正する規則について」をご説明いたします。

議案資料25をご覧ください。

スポーツ推進課が所管しておりますテニスコートは、供用を開始して30年以上になります長滝テニスコートと今年2月にオープンしました新町テニスコートの2施設があり、これまで条例施行

規則に休場日を記載していませんでした。この度年末年始の休場日について第8条に「テニスコートの休場日は12月29日から翌年の1月3日までの日とする。ただし、委員会が必要と認めるときは、臨時に開場し、又は休場することができる。」と明記することとし、これまでの第8条使用者の遵守事項以下第13条までの条文はそれぞれ第9条以下に1条ずつ繰り下げ第14条までとし、この規則は、公布の日から施行するという規則の改正についてお諮りするものでございます。ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいまスポーツ推進課長より説明がありましたが、ご意見ご質問がございましたら、お願いします。

中村委員

改正前は年末年始もお問い合わせがあつて大変だったから改正したのですか。

山路スポーツ推進課長

昨年は12月29日から翌年の1月3日まで休場ということできせていただいたのですが、2年前か3年前は1月2日からオープンして開場していたこともありまして、職員とかスポーツ推進課の業務自体が1月4日からというところで、1月2日に利用されてもし設備面で何か不具合があった場合、例えばネットが切れたとか、そういう場合の対応ができないということもございまして、昨年につきましては1月4日からということで、それまでの利用者からは「正月にしたい」とか「年末でもしたい」というお声はあったのですが、事情の方を説明させていただいて納得していただいたという経緯はあります。

中村委員

はい。わかりました。

奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第25号「泉佐野市民テニスコート条例施行規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きましてその他で何かございますか。

## 谷口委員

8月の子ども議会でも9月の議会でも、子どものランドセルが重たいという議題に上がっていて、その時の答弁が教育委員会としては「ランドセルは指定ではない」という答で、初めて知って結構衝撃だったのですが、第二小学校に通われている保護者方で、「子どもがランドセルを持って姿勢が悪くなるとか、重たいと言っているからリュックサックにして欲しいという提案をしている」という話を聞いていたので、強制ではないはずなのに、わざわざ提案してリュックサックにしないといけない状態なんだという矛盾があったので、疑問に思いました。

北中小学校で、今30歳ぐらいの世代の子たちが小学校の時は、ランドセルではなくてリュックサックみたいなものを持って行って、価格も5千円位だったから、身長が伸びても買い替えるという感覚だったけれども、今は北中小学校もほぼランドセルに変わっているというのを聞きまして、別に指定ではないのであれば、ランドセルを持とうがリュックサックを持とうがどちらでもいいんじゃないかなと思います。

みんながランドセルを持っている中、リュックサックを持つというのはなかなか勇気がいりますし、なかにはランドセルを持たせたいという人もいます。でも、ランドセルをいくら改良しても、リュックサックの軽さにはかなわないし、時々持って帰ってくるパソコンが入っていると結構重たいなという印象があります。

今「ラン活」という言葉があり、年長に入った5月にクリックボタンをパソコンの前で必死になっている保護者とかもいたりするぐらい流行っていて、価格も5万円台から10万円台の物もあったりしますので、泉佐野市として助成金だったり、補助金とか出しているという状況であるのであれば、私のように高額なランドセルが必須アイテムだと思っている保護者も多少なりともいると思うので、年中から年長に上がるこの年末ぐらいに、教育委員会として「ランドセルは強制ではないですよ」みたいな1枚の配布物があったら、他にも選択肢があるとわかっていいのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

## 奥教育長

この間周知してくれましたよね。

## 和田学校教育課学校指導担当参事

校園長会のほうでは文科省の通知等を周知しまして、置き勉といいますか、発達段階に応じて無理な負担にならないようにという説明はさせていただきました。

ランドセルが良いとか悪いとかを教育委員会から言ったことは勿論ないですし、もっと言うと標準服も制服ではなくて標準服という形になっていて、そこについても極論を言えば私服を着てきてもという話になってくると思うんです。ランドセルについては、私が現場にいた時でも壊れたからということでリュックサックみたいなものを持ってきている子はいましたし、それについてもどうという話にはならなかったのです。あえてそのタイミングで「ランドセルではなくてもいいよ」と言うのもどうなのかという判断は今ここで言うのはなかなか申し上げにくいのですが、学校も入学説明会とかの中で、ランドセルを必ず持って来てくださいという話はしていないと思うのですが、一般的には準備の中でランドセルというような伝え方はしているかもしれませんし、その辺りで用意し

ないといけないかなとみなさんが一般的に思われている状況はあるのかなとは思いますが、今すぐどうするというのは差し控えさせていただきたいと思います。

#### 谷口委員

私個人としては、年中の息子がいて、最終学校にそれを持って帰ってくるのは息子なので、どうしたらいいかというのは勿論聞きますけれど、ランドセルを持ってほしいと思っています。でも、通って重たい目をして通うのもかわいそうだし、ランドセルを6年間絶対持たないといけないというのがないという認識が今回できたので、よかったなと思っています。制服もだいたい3、4年経ったらサイズアウトする中、身長170も超えた男の子がランドセルを持っているのにも違和感を感じていたりするので、その時にリュックサックをもったらいんだという切り替えがみんな浸透したらいいなと思っています。特に男の子はランドセルの扱いが雑という印象があるので、選択肢があるということがわかったのでよかったです。ありがとうございます。

#### 和田学校教育課学校指導担当参事

選択肢があるというのはおっしゃられた通りでして、長い歴史の中でというか、地域であるとかにランドセルを持っているものやとか標準服を着てるべきものやというのがあるので、簡単に一切なしとか何とかというのが、各学校ごとで判断するのは難しい部分ではあるのかなと思います。その辺りは社会も変わってきているので、しっかりと話をしながら形を見つけていけたらなと思います。

#### 谷口委員

ありがとうございます。

#### 奥教育長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

無いようですので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。

次回の12月の定例教育委員会議は令和4年12月2日金曜日、午後2時から、市役所4階 庁議室で開催いたします。

それではこれをもって本日の会議は終了いたします。

(午後2時54分閉会)